

足利を120%楽しむためのツーリストマガジン

や
学び舎のまち

発行

足利市観光協会
足利商工会議所

保存版

¥0

TAKE FREE

足利

大義

私だけの楽しみ方
「あじかがスタイル」

TOPICS

おすすめ観光スポット一挙公開
「相田みつを」が生きたまち 足利
足利グルメに舌つづみ
まちを彩る「足利銘仙」
体験メニューや市内マップも充実！



■足利学校・学校門

寛文8年(1668)創建。足利学校のシンボルとして、江戸、大正、昭和そして平成へと継承されています。

■杏壇門と孔子廟

双方、寛文8年(1668)創建で、杏壇門は明治25年に火災で焼失し、同30年代に再建されました。孔子廟は、中国明時代の聖廟を模したものと伝えられています。

あしかが
スタイル

史跡足利学校

昌平町2338 MAP P10H2 ☎0284-41-2655
時間/9:00~17:00(4~9月)
9:00~16:30(10月~3月)
料金/¥400(一般)¥210(高校生)
中学生以下・障がい者無料



■伝説の字降松(かなふりまつ)

杏壇門の手前にある「字降松」は、その昔読めない漢字を紙に書いて結んでおくと、翌朝ふりがなが付けてあるという伝説が。



■方丈

学生の講義や学習、学校行事や接客のための座敷として使用されたところです。



■足利学校遺蹟図書館

昭和の終わり頃まで、図書館前の木陰に机と椅子が置かれ「緑陰図書館」として子供たちに親しまれました。

「またひとつ、賢くなる」
そんな気にさせてくれる旅
日本の教育の原点が、
ここにあります。

足利学校の創建は定かではありませんが、16世紀中ごろにはフランススコサゼエルによって「日本国中最も大にして最も有名な坂東の大学」として西洋にも紹介され、現在は国指定の史跡になっています。

足利学校は日本最古の大学として知られているように、ここから日本の学校教育が始まったといえるでしょう。

足利学校には三つの門があります。入徳門から学校門(ここからは有料)、さらに杏壇門をくぐると、その奥に孔子廟があり、中には小野篁(おののむね)足利学校の創始者ともいわれている孔子坐像が祀られています。

平成2年には、足利学校の江戸時代中期の姿が復原されました。

宝暦年間の絵図などを基に方丈、庫裡、寮、庭園などが整備されたものです。



■大御堂(本堂)
真言宗大日派の本山で、正面の本堂は鎌倉時代の建久7年(1196)に持仏堂として建てられ、後雷火のため正安元年(1299)に再建されたもの。明治41年に国宝、後の昭和25年に国の重要文化財に指定されています。



■楼門(山門)
永禄7年(1564)足利幕府13代將軍義輝が再建したもので、栃木県指定文化財になっています。



■鐘楼
大御堂(本堂)に次いで創建され、鎌倉時代の禅宗様式の代表的なもの。明治41年に国宝に指定され、昭和25年には国重要文化財に指定されました。

室町文化をつくった足利家の氏寺 鎌倉にも負けない歴史があります

足利学校と鑊阿寺で
縁起を担ごう

鑊阿寺は室町幕府を興した足利家の居宅跡で、足利の街の中心にあり市民からは「大日様」と呼ばれ親しまれています。40000平方メートルの敷地には、四方に堀と土塁が張り巡らされていて、東西南北にある橋を渡らなければ中には入られません。南側の太鼓橋をわたるとすぐに大きな楼門をくぐります。堀を泳ぐ大きな鯉の群れにエサをやるのは子どもたちの楽しみです。

正面の大御堂(本堂)は鎌倉時代に建てられたもので国指定の重要文化財です。このほかにも鐘楼や二経堂をはじめとした国、県、市指定の文化財が境内に点在しています。

境内は四季折々の草木であふれており、季節ごとの美しさを楽しむことができます。中でも、市の天然記念物でもある樹齢約600年の大銀杏は、秋には一面黄色く染まり、その美しさは圧巻です。

あしかが
スタイル

鑊阿寺
家富町2220 MAP P10H1
☎0284-41-2627



■栃木県指定天然記念物
樹齢145年を超える600叢の大藤棚



■150種1,500株のバラ
(5月中旬～10月下旬)

春は桜に始まり、やがて園内300本以上の藤と5000株のつじをはじめ様々な花の競艶を楽しめます。またバラ、花菖蒲、あじさい、熱帯性スイレン、アメジストセージなどの季節ごとにテーマをもった花が夏から秋へと続き、冬のイルミネーションも今ではしっかりと定着してきました。

中でも圧巻なのは5月のゴールデンウィーク前後に咲き誇る「大藤」4本で、樹齢145年を超え、畳600枚分の藤棚と言われ、まさしく、息をのむほど美しいと見る人を魅了しています。

あしがフラワーパークは、足利の中心部から東へ約6キロ、JR両毛線富田駅から徒歩12～13分にあります。92000平方メートルの敷地に四季折々の花がある時は見るものを圧倒するほど、またある時は可憐にやさしく、癒しのひとときを与えてくれます。

「大藤」から「イルミネーション」まで。その見事さ、二年中。

世界に咲き誇る 花のテーマパーク

あしが
スタイル

あしが フラワーパーク

迫間町607 MAP P8E3 ☎0284-91-4939
時間 9:00～18:00(季節によって変動)
大藤まつり期間中(4月中旬～5月中旬)7:00～21:00
休園日 年中無休
(ただし2月第1水・木曜と12月31日は休園)
入園料 花の吹き具合、期間によって変動あり
<http://www.ashikaga.co.jp>



■咲き誇る5,000株のつじ
(4月下旬～5月上旬)



■関東最大級150万球のイルミネーション
・第7回「日本夜景遺産」認定登録
(10月下旬～1月下旬)



■栗田美術館本館

白い漆喰壁が特徴の建物。1977年、(社)建築業協会が毎年、優秀な建築作品におくるBCS賞を受賞しました。



■陶磁会館

黒い磁器タイル張りの重厚な建物。館内には喫茶室があります。2階の催事場は貸し出しもしています。



■歴史館展示室

有田泉山の白磁釜で製作した磁器タイルを建物の内外に使用した塔のような建物。展示室のほか、最上階は眺めのよい展望室になっています。

あしかが
スタイル

栗田美術館

駒場町1542 MAP P8E2
☎0284-91-1026
開館時間 9:30~17:00
入館料 ¥1,550(一般)
¥520(小中高生)
休館日 月曜日(祝日の時は翌日)、
年末年始
<http://www.kurita.or.jp>

展示されている作品は350年も前、日本人が美を愛した心、平和を希求した生活を土台にして作られたもので、今の時代には到底求めることのできない作品ばかりです。広い駐車場から入場口の大手門をくぐり、左手の緩やかな坂道を回りこむと正面に本館、右側に江戸時代の豪農の居宅を移築した栗田山荘があります。ここから前述の各展示室を参観してまわるスタートになります。陶磁会館内の喫茶室での落ち着いたお茶の時間もいいものです。

自然の林に囲まれた中に
世界最大級の陶磁美術館

伊萬里と鍋島に

至心の気魂と情熱を傾けて

江戸時代に肥前鍋島藩で生産された伊萬里、鍋島のみを展示する「栗田美術館」は足利市の東の郊外の丘陵地、松林に囲まれた中にあります。三万坪の敷地に本館をはじめ、歴史館や無名陶工祈念堂、陶磁会館などが点在して、まるで森の中を散策しているような感覚で鑑賞できます。

癒しのひととき

足利は
「相田みつを」が生きたまち

心を支える枝
枝を支える幹
幹を支える根
根はかえりだ
なまのつを

©相田みつを美術館

「言葉」と「文字」を大切に。

「わたしを育ててくれたふるさと足利は、山と川のある美しい町です。まだまだ自然のいつは残っている町です。そういふふるさと足利の町に、わたしは限りない愛着と誇りを持っております」

足利に生まれ、一生を足利で生きた相田みつをの言葉です。

たしかに、足利の町を歩くと、よく相田みつをの書に出会います。相田みつをが見つめたであろう景色にふれて、ハッとすることがあります。それは、ときにはアトリエ裏の松林や相田みつをが釣り糸を垂れたという渡良瀬川の堤の上、あるいは町の角だうたりするのです。

人間の弱いところを、わかり易い言葉と親しみを持った文字で表現し、元氣を与え、そして癒してくれる相田みつを。彼が大切にし、残した「言葉」と「文字」を、我々は次に伝えていかなければならないのです。

協力/相田みつを美術館



■相田みつをが仏法を学んだ高福寺 MAP P10G1



■毎日散歩した八幡山古墳群 MAP P9B4

うげに合えはあはれ
あけ合えはあはれ
うげに合えはあはれ
あけ合えはあはれ



相田みつをプロフィール

大正13年、栃木県足利市生まれ。書家・詩人。旧制栃木県立足利中学校卒業。旧制中学の頃から短歌、禅に出会い、独特の世界観を著して表現する。昭和59年「にんげんだもの」出版を機に、多くの日本人の心をとらえ、根強いファン層を広げた。平成3年12月、67歳で逝去。平成8年、東京銀座に相田みつを美術館開館。平成15年11月、東京国際フォーラムに移転。

■虎谷(井草店)
☎0284-41-3756 MAP P10G2■一茶庵本店
☎0284-40-3188 MAP P8C2■相田みつをゆかりの店
めん洞烹なか川
☎0284-41-2322 MAP P10G2■相田みつを美術館
東京都千代田区丸の内3-5-1
東京国際フォーラム地下1階
☎03-6212-3200
開館時間/10:00-17:30(入館は17:00まで)
休館日/月曜日・祝祭日の時は開館■香雲堂本店
☎0284-21-4964 MAP P11F2



あしかが
スタイル
ココ・ファーム
ワイナリー

田島町611 P8C1 ☎0284-42-1194
 時間 10:00~18:30 (1月~3月は17:30まで)
 休業日 年末年始(12/31~1/2)
 1月第3月曜から5日間は休み
<http://www.cocowine.com>

自然の恵み、美味さ世界級 贅沢な時間と空間があります

世界が認めた「ワイン」は
いかが？

足利の北部の静かな山懐にあるココ・ファーム・ワイナリーは、障がい者支援施設「まごころみ学園」の創設者川田昇氏が保護者らとともに設立したワイン醸造所です。

急斜面の山を開墾した畑から収穫したぶどう、そして手間隙かけてつくられたワインは、「沖縄サミット」や「洞爺湖サミット」で世界各国の首脳に振舞われるほどの品質を誇り、もはや世界クラスの實力といわれています。

窓越しに醗酵タンクを臨めるワインショップではワインのほかオリジナル商品も豊富に取り揃えてあり、見ているだけでも楽しくなります。また5種類のワインのテイasting(¥500)や見学コース(参加費¥500)もおすすすめ。

ココ・ファーム・カフェでの食事も人気です。自然の中での食事は極めて非日常的で、しばし時を忘れてしまうでしょう。

さらに自然派の方ならテイクアウトしてぶどう畑へピクニックもOK。





■タクシー

- 両毛センター (JR足利駅前) ☎0284-41-6101
- 足利タクシー ☎0284-21-4121
- 富田タクシー ☎0284-42-6131
- 富田タクシー (JR富田駅前) ☎0284-91-0908
- 福居タクシー ☎0284-72-5131
- 小俣タクシー (JR小俣駅前) ☎0284-62-0117

■タクシー

- わたらせ交通 (山前営業所) ☎0284-62-2437
- わたらせ交通 (山辺営業所) ☎0284-71-5448
- 足利交通 ☎0284-71-3777
- 北関東両毛交通 ☎0284-21-3323

■生活路線バス

生活路線バスに関するお問い合わせ
市交通政策課 ☎0284-20-2186

■レンタカー

オリックスレンタカー足利店
☎0284-73-2543

足利市内 ホテル・旅館

[中央地域]

- ニューミヤコホテル本館
☎〒326-0821 南町4254-1 **MAP** P8C4 ☎0284-71-3333
- ニューミヤコホテル別館
☎〒326-0822 田中町634 **MAP** P8C4 ☎0284-72-3333
- ホテル高雄
☎〒326-0053 伊勢町3-8-5 **MAP** P10H2 ☎0284-42-1121
- 足利タウンホテル
☎〒326-0814 通2丁目2623 **MAP** P10G2 ☎0284-21-4114
- ビジネスホテル ニュー大栄
☎〒326-0826 借宿町281-12 **MAP** P9B4 ☎0284-73-0027
- 政泉旅館
☎〒326-0805 巴町2541 **MAP** P11F1 ☎0284-21-2541
- ビジネスホテルかわかみ
☎〒326-0053 伊勢町3-2-17 **MAP** P10H3 ☎0284-44-1141
- 宮崎旅館
☎〒326-0814 通4丁目2801 **MAP** P11F2 ☎0284-21-4151
- ビジネスホテル わかさ
☎〒326-0812 大門通2374-2 **MAP** P10H2 ☎0284-44-5353
- ホテルルートイン足利駅前
☎〒326-0814 通1丁目2688-1 **MAP** P10H3 ☎0284-40-1300
- 東横イン栃木足利駅北口
☎〒326-0053 伊勢町1-1-6 **MAP** P10H3 ☎0284-40-1045

[東部地域]

- 醍醐旅館
☎〒326-0021 山川町1144 **MAP** P8D3 ☎0284-41-3545

[西部地域]

- 地蔵の湯 東葉館
☎〒326-0143 葉鹿町1981 **MAP** P9A3 ☎0284-62-0136
- シルクビジネスホテル
☎〒326-0141 小俣町26-5 **MAP** P9A3 ☎0284-62-3199

[北部地域]

- 巖華園
☎〒326-0068 月谷町8-1 **MAP** P8C1 ☎0284-41-2338

[南部地域]

- 友千閣
☎〒326-0823 朝倉町3-34-6 **MAP** P8C5 ☎0284-71-4901
- 旅館富士
☎〒326-0338 福居町1157 **MAP** P8D5 ☎0284-71-5436
- ホテルルートイン第2足利
☎〒326-0831 越込町2460 **MAP** P8C5 ☎0284-70-8400



🚲 レンタルサイクルのご案内

- 利用条件
貸出時間/9:00~19:00
利用料金/3時間まで…500円、追加1時間ごとに…200円 1日利用は…1,000円
- 設置場所
太平記館/伊勢町3丁目6-4(太平記館駐車場管理棟で受け付けております)
東武観光案内所/東武足利駅構内(東武観光案内所で受け付けております)
- お問い合わせ
足利市観光協会 ☎0284-43-3000

足利・まんなか 「まちざんぽ」

足利学校から鑊阿寺へ、
歴史を感じるこのあたりは、どこか懐かしい石畳の散歩道。
あなたのお気に入りを探しに、マップ片手に
のんびりお散歩してみませんか。

足利商工会議所(友愛会館)



元銀行の重厚な建物を活用した建物で、「友愛ホール」のほか金庫を改装した「ギャラリーカッサ」や「市民ギャラリー」、「まち歩きミュージアム」などもあります。

国通3丁目2757 ●MAP P11G2
☎0284-21-1354

太平記館 (●お土産、お休処、観光◎)



NHK大河ドラマ「太平記」の放映を記念して建てられたもので、足利学校に隣接し、観光案内所や土産品コーナーがあります。レンタルサイクルの貸し出しも行っていきます。

国伊勢町3-6-4 ●MAP P10H2
☎0284-43-3000 12/29～31休



●P 駐車場(無料)	●WC トイレ	●〒 郵便局	→ 一方通行
●P 駐車場(有料)	♿ 身障者トイレ	●銀行・信用金庫	■ 石畳通り
●その他	⊗ 交番	●タクシー乗り場	

石畳通り
お食事・買い物案内

籠や



店主が惚れ込んだ青森の職人作の籠を中心に取り扱う籠専門店。生活の道具や伝統の技を活かした逸品が揃っています。

国家富町2312 MAP P10H1
☎0284-43-3668 月曜休

綿布問屋 たけや



和のモダンズムをテーマに、綿100%の素材にこだわった衣料・創作和雑貨を豊富に品揃えし、問屋価格で提供しています。

国大門通2379 MAP P10H2
☎0284-44-0024 無休

京呉服・和の小物 飯嶋商店



京呉服・和装小物の卸問屋。藍染め製品や雑貨も豊富に揃っています。店頭にはつるし飾りなど和のテイストを楽しめる製品が中心です。

国昌平町2364 MAP P10H2
☎0284-41-8195 第3月曜休(祝営業)

サウスウエストパラダイス



足利学校入徳門脇のサンタフェ風レストラン。ランチのタコスやメキシカンピラフ、そして夜のバーメニューも種類が豊富です。

国昌平町2360 MAP P10H2
☎0284-43-3484 月曜休

関西風お好み焼・甘味 はとや



鏡阿寺北門前で40年、根強いファンを持つお好み焼・甘味の店。モダン焼きやポテト焼きそば、店頭でのタイ焼きの評判が高い。

国家富町2247 MAP P10H1
☎0284-42-6998 火・第3水曜休

クワカンワット



日本語に訳すと「お寺の隣の台所」という意味の「クワカンワット」。その名の通りのタイ料理専門店、タイ通に人気のお店です。

国家富町2264 MAP P10H1
☎0284-43-1313 月曜休

足利まちさんぽご案内

店名	住所	MAP	連絡先	定休日
うおえ(和食)	井草町2410	P10G2	0284-22-2200 <small>(平日9時～20時)</small>	日曜・月曜
大津栄本店(和食)	大町2-4	P10H2	0284-41-3720	なし
喜千(和食)	巴町2543	P11F1	0284-21-3506	月曜日
銀釜(釜飯・和食)	通2丁目2627	P10G2	0284-21-2657	水曜日
三活(カツカツ)	通4丁目3489-2	P11F2	0284-21-3855 <small>(平日9時～20時)</small>	水曜日
ステーキ大作(ステーキ)	通1丁目2697	P10H3	0284-42-3125	火曜日
相州楼(料亭)	通5丁目3208	P11F2	0284-21-3101	不定休 <small>(年中無休)</small>
蝶や(割烹・会席)	通2丁目2652	P10G2	0284-41-2456	水曜日
馬車道(定食)	通2丁目2659-1	P10H2	0284-42-0026	木曜日
富士屋(レストラン)	通1丁目2701	P10H3	0284-41-2590	水曜日
あしかが逸品堂(足利の逸品)	通1丁目2702	P10H3	0284-64-9920	月曜日
いまあじん(服飾雑貨)	大門通2380	P10G2	0284-41-2188	火曜日
漆工房の店くぼた(漆器)	昌平町2365	P10H2	0284-44-0767	水曜・火曜
吉甲堂(菓子)	通2丁目2-5	P11G3	0284-21-1812	日曜日
香雲堂(和菓子)	通3丁目2617	P10G2	0284-21-4669	隔週水曜日
コスブーン(サンドウィッチ)	大町2-3	P10H2	0284-41-3399	日曜日・祝日
上州屋餅店(和菓子)	家富町2163	P10G1	0284-21-4471	月曜日
富福染工房(草木染)	家富町2234	P10G1	0284-41-8606	不定休
舟定屋本店(和菓子)	通4丁目2812	P11F1	0284-21-3807	水曜・火曜
雷神堂(煎餅)	昌平町2366	P10H2	0284-42-3659	不定休
和タイニング 一蔵(居酒屋)	通2丁目14-17	P10G3	0284-41-2364	日曜日
花の湯(銭湯)	巴町2541-1	P11F1	0284-21-8538	日曜日



まちなかマップ

- 凡例
- 飲食店
 - 宿泊
 - 買物

☎その他のお店情報は足利市観光協会ホームページもチェック!

足利味覚探検

「そば通」なら

やっぱり「足利へ」でしょう。

足利の水がそばに適している...というところで、足利は古くから「そばが旨い」といわれています。

さらに、戦後「近代蕎麦の始祖」「蕎麦聖」などと呼ばれた片倉康雄氏が昭和29年に足利で「茶庵」を再開して以来、多くのそば好きの人たちが足利の「茶庵」を訪れるようになりました。そば通はもちろん、そば打ちの職人までもです。その現象は「足利詣」といわれるほどでした。

「近代の足利のそば」が旨いのは、その影響を受けて、地元のおそば店同士が研鑽を積み重ねた結果でしょう。

材料にこだわる
足利のそば



そばファンの多くの方が、「足利のそばは繊細で上品だ」といいます。味の決め手になる玄そばは、原産地にこだわり、出し汁にもそれぞれの店の工夫と特徴があります。挽きたて、打ちたて、茹でたての絶妙な味をぜひお試しください。

そば処のご案内

相田みつせゆかりの店 めん割烹	なか川 通2-2659 <small>MAP</small> P10H2	0284-41-2322	11:00~21:00	火曜定休	◎4台
赤坂本店	大町2-5 <small>MAP</small> P10H2	0284-41-2819	11:00~16:00	木曜定休	◎5台
荒川屋	福居町575 <small>MAP</small> P8D5	0284-71-3223	11:00~ (売り切れ終了)	水曜定休	◎20台
あらき	田中町625 <small>MAP</small> P8C4	0284-71-3435	11:30~15:00	月・火定休	◎12台
いけもり	宮北町1-2 <small>MAP</small> P8D4	0284-43-0731	11:00~21:00	水曜定休	◎30台 (大型も可)
一茶庵本店	柳原町862-11 <small>MAP</small> P8C2	0284-40-3188	11:30~ (売り切れ終了)	水曜定休 (不定休あり)	◎14台
伊とう	巴町3890-17 <small>MAP</small> P9B2	0284-21-5201	11:00~16:30	月曜定休	◎7台 (補助公営駐車場利用可)
門前そば	きくや本店 家富町2317 <small>MAP</small> P10H1	0284-41-2818	11:30~15:00 17:00~19:00	水曜定休	◎10台
蕎遊庵	西宮町2549(織姫神社内) <small>MAP</small> P11F1	0284-21-6818	11:30~14:00 (14:30~そば打ち教室)	火曜定休	◎50台
丸一そば	第一立花 通6-3222 <small>MAP</small> P11F1	0284-22-0505	11:00~15:00 17:00~20:00	無休	◎10台
八蔵	利保町1-46-8 <small>MAP</small> P8C1	0284-44-1183	11:30~14:00 17:00~20:00	水曜定休	◎10台
はつがい	堀込町124-1 <small>MAP</small> P8C5	0284-72-5108	11:30~14:00 17:00~20:00	木曜定休	◎12台

【ポテト入り焼きそば】



足利の「焼きそば」はポテト入り主流です。キャベツや野菜、肉と一っしょに、ゆでたジャガイモを加え、地元産のソースをしっかりと絡めてできあがりです。その独特な味とリーズナブルな価格が人気のヒミツ!

【ソースカツ丼】



千切りキャベツの上に特製ソースをからめた一口かつが食欲をそそります! 足利名物ソースカツ丼は、市内ほとんどの飲食店で食べることができます。食べ比べてみるのもおすすめ!

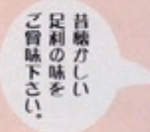
【足利流シュウマイ】

足利のシュウマイは戦後の屋台から生まれた独特のもの。片栗粉と玉ねぎを練って蒸かしただけなのですが、これに足利産の辛目のソースをかければ、何とも不思議なシュウマイに!



試作を重ねて、
オマージュの味を
再現しました!

■ごはん処勉強亭本店 / 伊勢町3-2-3 MAP P10H3 ☎0284-42-4907
11:30~14:30 17:00~21:00 火曜休



昔懐かしい
足利の味を
ご賞味下さい!



1串211800円

■うろ 樹洞 / 通2丁目3-17 MAP P11F3 ☎0284-21-2434
15:00~0:00 月曜休

ご当地
グルメ!

あまから家



甘味・ケーキとカレー、珈琲の店です。昭和を代表する和のスイーツ「あんみつ」を現代風に工夫し、古くて新しい味を提供しています。フルーツ以外は全て手作りにこだわったクリームあんみつの人気が高く遠方からのリピーターも訪れます。



住 昌平町2369 MAP P10H2
☎ 0284-41-4277
🕒 10:00~19:00 火曜休

お菓子サロン とちのみ



日替りを含め常時15~16種類の、ケーキと珈琲・紅茶・ソフトドリンクでくつろいだひとときが楽しめます。甘さ控えめでチーズとチョコを合わせた味のレアチーズケーキは、女性の人気が高く、お持ち帰り用店内販売も行なっています。



住 大門通2371-1 MAP P10H2
☎ 0284-42-7541
🕒 10:00~18:00 水曜休

はせがわ珈琲店



珈琲と自家製ケーキ(5~6種類)があり、大正浪漫の漂う店。オリジナルブレンドの珈琲は根強い人気があります。夕方定刻に近くの寺の鐘の音が鳴り響き、小京都の趣を一段と醸し出します。ハヤシライス・ビーフシチューは専門店の味と好評です。



住 伊勢町3-6-6 MAP P10H3
☎ 0284-41-2776
🕒 11:00~21:00 不定休

足利で一休み お茶、しましょ!

あまり目立ちませんが、足利はコーヒー店が多い町で、そのほとんどが昭和を受け継いでいる落ち着いた店です。それぞれがこだわりを持ち、地元の人たちに愛されています。ここに掲載されている以外のお店も探して見ては。



イメージ写真/カフェドゥ・フルカワ

珈琲蔵 (かふくら)



江戸時代末期に建造された米蔵を改装した珈琲店。青々とした桐の葉が心地良い木陰を作り、独特の雰囲気。自家焙煎の珈琲と隣接するパン工房で作る約20種類の無添加のパンが楽しめます。2階席は、季節ごとにディスプレイを替えています。



住 旭町2292 MAP P10H1
☎ 0284-41-3585
🕒 8:00~20:00(日・祝は10:00~)月曜休

おすすめです! 「足利ブランド」



■栗むし羊かん(草雲羊かん)■
幕末から明治の文人画家田原草雲の名を冠した「草雲羊かん」です。「栗むし羊かん」は羊かん用に製法した独自の餡と大粒の国産栗に、吉野産の本産をつなぎにしたチョコと固めの蒸し羊かん。一個づつなので切りずりに召し上がれます。
住 緑町1丁目1006-1 ☎ 9:00~19:00 水曜休
☎ 0284(2)14771 ☎ P9B3



「足利ブランド」とは
「足利ブランド」とは、足利産の原料を使用した商品や足利で生産・加工された製品で、足利商工会議所などが設置した「足利ブランド創出協議会」が認定した優れたものです。現在は37品が「足利ブランド」として認定されています。
■古印最中(香雲堂本店)■
足利学校や護国寺に伝わる古印や落款を元にしてつくった足利の名物。
パリッとした香ばしいおりの薄皮に、国内産の小豆を使った、少し粘り気のある絶妙な甘さの餡がたっぷり詰まった伝統の最中です。
住 通4丁目2570 ☎ 9:00~19:00 無休
☎ 0284(2)14964 ☎ P11F2

まちを彩る「足利銘仙」

足利のまちなかを歩くと、モダンな柄と斬新な色使いの着物を着た女性に出会うことがあります。そう、「足利銘仙」です。

「足利銘仙」とは、昭和初期に普及着やオシャレ着、また女学生の通学着としても一世を風靡した大衆着物です。手ごろな価格と斬新なデザインで大流行し、昭和14年(1939)に足利市はその生産量で日本一になりました。

今、足利市では、銘仙に触れることのできる機会が続々と増えています。そして銘仙に限らず、足利は着物姿がとっても似合うまちなんです。



足利織物伝承館



足利銘仙のほか、明治から昭和にかけての近代足利織物の資料や、足利銘仙の宣伝に使われた「美人画ポスター」「レコード」なども展示しています。

〒通3丁H2589 足利織物伝承館2階
☎0284-22-3004 MAP P11F2
🕒10:00~16:00
📅月(祝日の場合は翌日)
🎫無料

足利まちなか遊学館



古くから「織物のまち」として栄えてきた足利市を紹介する施設です。大きな「八丁撫糸機」をはじめとする織り機の実演は、日曜・祝日に行われます。

〒通1丁H2673-1 MAP P10H3
☎0284-41-8201
🕒9:00~18:00
📅第3月及び年末
🎫無料

うなぎや



アンティークから現代ものまでの着物類を中心に古布・はぎれなどを販売、着物からのオリジナルメイク服もオーダーできます。大正ロマンの喫茶室にて一休みもおすすめ。また、銘仙を中心とした街着のレンタルサービスも好評です。

〒大門通2380-1 MAP P10H2
☎0284-41-1000(P2台)
🕒10:00~18:30
📅月

肌で感じる足利「魅力体験メニュー」



名草ふるさと交流館

市内の築半50年の民家(旧橋本憲を移築した施設で、利用がないときは座敷へ上がって見学することが出来ます。自然の中でゆくりとした時間を過ごしませんか？
館の内外では「ふるさと」を感じることもできる様々な体験メニューを実施しています。

〒名草上町3371 MAP P8C1
☎0284-41-9687
🕒9:00~22:00
(利用がない場合は17:00)
📅月(祝日の場合翌日)
年末年始
🎫見学は無料



■手織り体験

「足利まちなか遊学館」で、足踏み織機を自分で動かしながら、オリジナルのコースターを作ることができます。(体験時間30~40分、同時に4名様まで可能)

🕒9:00~16:00
🎫400円
☎0284-41-8201(足利まちなか遊学館)



■森でピザを焼いてみよう!

(団体限定・要予約) 🎫500円



■イワナのつかみ取り

捕まえたイワナは焼いてお渡しします。(団体限定・要予約)

🎫1000円(イワナ1人2匹の料金)



■水鉄砲を作ろう!

作った水鉄砲を使って清流で遊ぼう!(団体限定・要予約) 🎫1本 250円



■論語の素読

近年、「心の教育」の大切さが言われるようになり、「人間の原点」として「論語」が脚光を浴びており、全国から論語ファンが訪れています。

🕒5~11月 毎週日曜日
🎫無料
☎0284-41-2655(足利学校事務所)



■行道山淨因寺

「関東の高野山」とも呼ばれるこの寺は、和銅7年、行基上人の開創と伝えられる名刹です。
月谷町1579 **MAP** P9B1 ☎0284-42-4464



■名草巨石群

厳島神社社殿の前には大きな御供石、弁慶の手割石などがあり、国の天然記念物になっています。
名草上町4990 **MAP** P9B1 ☎0284-41-9977 (名草公民館)



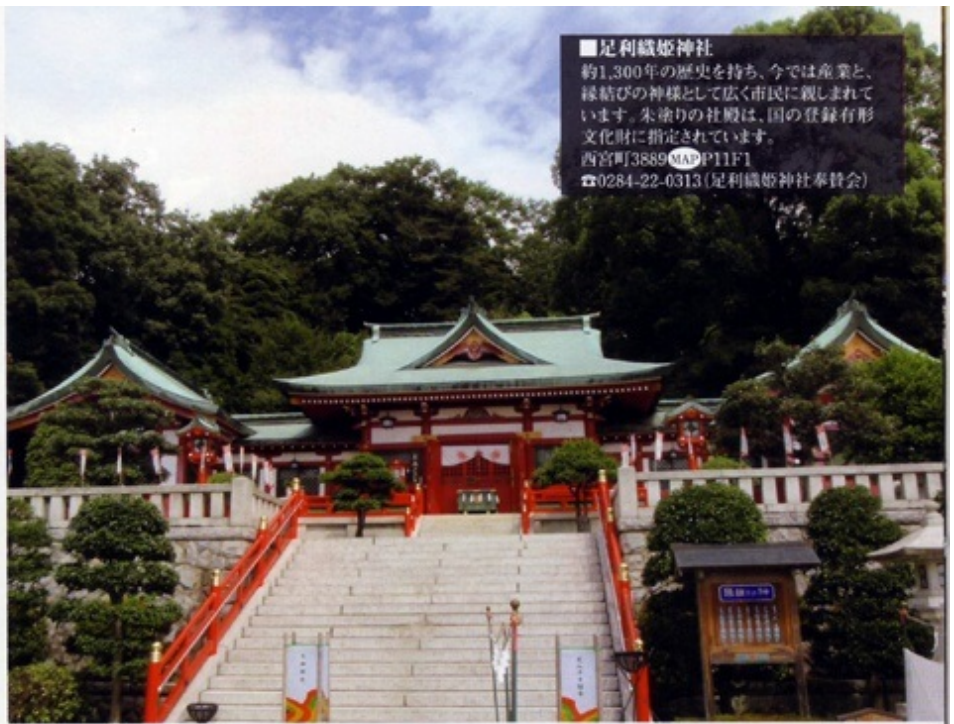
■下野国一社八幡宮/門田稲荷神社

1056年に源義家が戦勝祈願のために創建したと伝えられています。隣接して日本三大縁切り稲荷の門田稲荷があります。
八幡町387 **MAP** P9B4 ☎0284-71-0292



■本城厳島神社(明石弁天・美人弁天)

寛政5年(1793)の建立で、明治維新前までは「明石弁天」と呼ばれていました。「美人弁天」は、厳島神社の御祭神、市杵島姫命の分身です。
本城2丁目1805 **MAP** P8C2 ☎0284-42-0525 (本城厳島神社) ☎0284-41-1382 (美人弁天事務所)



■足利織姫神社

約1,300年の歴史を持ち、今では産業と、縁結びの神様として広く市民に親しまれています。朱塗りの社殿は、国の登録有形文化財に指定されています。
西宮町3889 **MAP** P11F1 ☎0284-22-0313 (足利織姫神社奉賛会)

あしかが
スタイル

もうひとつの
足利の旅

パワースポットで元気になったり、
心が美人になったり!

歴史と伝説の
「もうひとつの旅」を

足利は関東平野の突き当たり、楓の葉のように広がる山とすそ野。この境界に、時を超えてなお息づく、鎌倉に勝るとも劣らぬ歴史があります。

足利は、寺や神社の多いまちです。

足利幕府を興した足利尊氏以前7代の足利氏ゆかりの仏閣や、行基上人の足跡などが、まち並みの中に、山すそに、そして山々の中に見られ、現代ではそれらが私たちがひとつの「パワースポット」となって、市民の拠りどころともなっているのです。

古い歴史とともに残る伝説も、このまちにはたくさんあります。「歴史と伝説」をセレクトした足利小旅行も、「もうひとつの旅」としてきくと楽しんでいただけることでしょう。



■華雨蔵珍之館

中国歴代の名碑約2,000点を収蔵する拓本専門の展示館です。
東武足利市駅から徒歩2分。
田中町907-6 **MAP** P8C4 ☎0284-71-0003
開館日/月曜～金曜日の10:00～15:00(要予約)
入館料/¥500



■龍泉寺美術館

龍泉寺の本堂を美術館として改装し、寺が所蔵する美術品を一般公開しております。
助戸町1-652 **MAP** P8D3 ☎0284-41-5685
開館日/10:00～16:00
入館料/入館時に1行写経(¥500)
休館日/月曜日



■草雲美術館

幕末から明治期にかけて足利で活躍した田崎草雲の絵画、書籍、遺品などの収集、保存、展示をしている。
緑町2-3768 **MAP** P9B3 ☎0284-21-3808
開館時間/9:00～16:00
入館料/¥210(一般・大・高校生)中学生以下無料
休館日/月曜日(祝日の時は翌日)、年末年始



■足利市立美術館

作品の蒐集や展覧会を通じて、美術の持つ多様さ、奥深さ、そして面白さを、時代や地域を問わず、紹介しています。
通2-14-7 **MAP** P10G3 ☎0284-43-3131
開館時間/10:00～18:00(入館は17:30まで)
観覧料/展示会によって異なります。
中学生以下無料
休館日/月曜日(祝日の時は翌日)、祝日の翌日、年末年始、展示替え等のための休館日

足利の美術館めぐり

[足利花彩時季]



■マンサク(塩坂峠)
「マンサクの花咲くみち」ハイキングコースに咲く黄色く可憐な花です。

住 榑崎町地内 **MAP** P8D1
見頃: 1月下旬～3月上旬



■梅(栗田美術館)
よく手入れされた木々に白やピンクの可憐な花をつけます。館内には四季折々の草花も。

住 駒場町1542 **MAP** P8E2
見頃: 2月下旬～3月中旬



■梅(西溪園)
白梅・紅梅合わせて約1,200本の梅林。個人所有ですが開花時期には無料開放されます。

住 西宮町3855 **MAP** P9B2
見頃: 2月下旬～3月中旬



■桜(鏡阿寺)
歴史的な景色と相まって風格を感じさせる人気の撮影スポットです。秋の大銀杏も圧巻。

住 家富町2220 **MAP** P10H1
見頃: 3月下旬～4月中旬



■桜(千歳袋川)
足利で最も人気、人出の多い「名所」となっています。毎年「千歳さくらまつり」を開催。

住 千歳町袋川沿い **MAP** P8D4
見頃: 3月下旬～4月中旬



■桜(足利公園)
桜やつつじの名所としても有名です。古墳があり、市民の憩いの場として親しまれています。

住 緑町1丁目3775-1外 **MAP** P9B3
見頃: 3月下旬～4月中旬



■しだれ桜(旧袋川)
珍しい72本のしだれ桜並木です。住宅街にありますので、ゆっくりお散歩がおすすめ。

住 田所町地内(市総合運動場北東) **MAP** P8C1
見頃: 4月中旬～下旬



■つつじ(織姫公園)
330本もの桜が美しい市内でも有数の名所である織姫公園は、つつじも見事です。

住 西宮町地内 **MAP** P9B2
見頃: 4月下旬～5月中旬



■ぼたん(光明寺)
30種300株ほどのぼたんが美しい花を咲かせてくれます。ゴールデンウィークには「ぼたん祭り」も。

住 田島町1717 **MAP** P8C1
見頃: 4月中旬～5月上旬



■あじさい(吉祥寺)
15種1,500株のあじさいが咲き「あじさい寺」と親しまれています。「あじさい弁天まつり」は6月下旬。

住 江川町245 **MAP** P8C1
見頃: 6月中旬～下旬



■萩(寺岡元三大師)
紅白2種類の美しい萩が咲き、9月第3土曜日には「萩まつり」が開催されます。

住 寺岡町871 **MAP** P8E3
見頃: 9月中旬～下旬



■もみじ谷(織姫公園)
約1,000本のもみじやユリノキがづくり出す赤や黄色のコントラストは、人々を非日常へと導きます。

住 西宮町地内 **MAP** P9B2
見頃: 11月上旬～中旬

足利への交通アクセス

[電車の場合]

- ・東武伊勢崎線浅草駅から特急で約75分(北千住から約60分)
- ・上野から東北新幹線または宇都宮線小山駅で同毛線に乗り換え、小山から約40分
- ・上越(長野)新幹線高崎駅で同毛線に乗り換え、高崎から約60分

[車の場合]

- ・北関東自動車道足利インターから約8分
- ・北関東自動車道太田橋生インターから約15分
- ・東北自動車道佐野藤岡インターから約25分

[観光に関するお問い合わせ]

●足利市観光協会

〒326-0053 栃木県足利市伊勢町3丁目6-4(太平記念館内)
tel 0284-43-3000 fax 0284-43-3333
<http://www.ashikaga-kankou.jp>

●足利商工会議所

〒326-8502 栃木県足利市通3丁目2757
tel 0284-21-1354 fax 0284-21-6294
<http://www.ashikaga.info>

